

工場の生産スケジュール管理や設備監視のリアルタイムな可視化を実現

三島食品株式会社



広島工場
工場長補佐 生産技術
蒲川 健吾氏

広島工場
工場システム担当
清水池 深人氏

三島食品株式会社は、同社の主力生産拠点である広島工場にウイングアークのBIダッシュボード「MotionBoard」を導入した。生産状況や実績など社内のあらゆる業務を「目で見る管理板」に掲示、見える化する企業文化がもともと根付いていた会社では、リアルタイムの情報把握を目的に管理板の電子化に着手。同時に生産設備のIoT化も進め、生産スケジュールの管理、工場内の温湿度管理、生産設備の稼働監視、原材料の品質管理、業務インシデントの可視化など、さまざまな用途にMotionBoardを活用している。

Summary

概要



背景・課題

- ・ 「目で見る管理板」で実績や業務を“見える化”したい
- ・ わかりやすい画面で、実績や業務の状況を把握したい
- ・ 月ごとに作成しているためにリアルタイム性と正確性に課題がある



導入のポイント

- ・ リアルタイムのデータを収集・分析・可視化できるBIツールを探した
- ・ プログラムレスで分かりやすいグラフを作成できるMotionBoardを採用
- ・ 生産スケジュール管理からIoTシステムとの連携など幅広い用途で活用



効果

- ・ リアルタイム性が求められる情報の“見える化”を実現した
- ・ 感覚ではなく正確なデータに基づく設備保全作業が可能になった
- ・ 原材料の異物発見などのデータ活用により製品品質向上につながった

MotionBoard

ビジネスのあらゆるデータを可視化する BIダッシュボード。データを必要なカタチで、シンプルに可視化。

CASE STUDY

縁もゆかりも一期一会



プログラムレスで 視認性に優れた画面を作成

赤しそふりかけ「ゆかり®」で有名な食品メーカーの三島食品には、工場の生産状況や実績など、社内のあらゆる業務を「目で見える管理板」に掲示、見える化する企業文化が根付いている。管理板に貼り出される掲示物は各部署の担当者が手作業で作成しており、決められた色分けと各担当者の工夫によって実績や業務の状況がひと目でわかるようになっている。しかし、広島工場工場長補佐 蒲川健吾氏によると「月ごとに作成しているためにリアルタイム性に欠け、正確性も十分でない」という課題があった。

こうした課題を解決するために、同社はリアルタイム性が求められる情報を可視化する PC 用の進捗管理板システムを導入したこともあった。しかしデータの分析や加工は別途行う必要があり、十分な解決策にはならなかった。そこで他システ

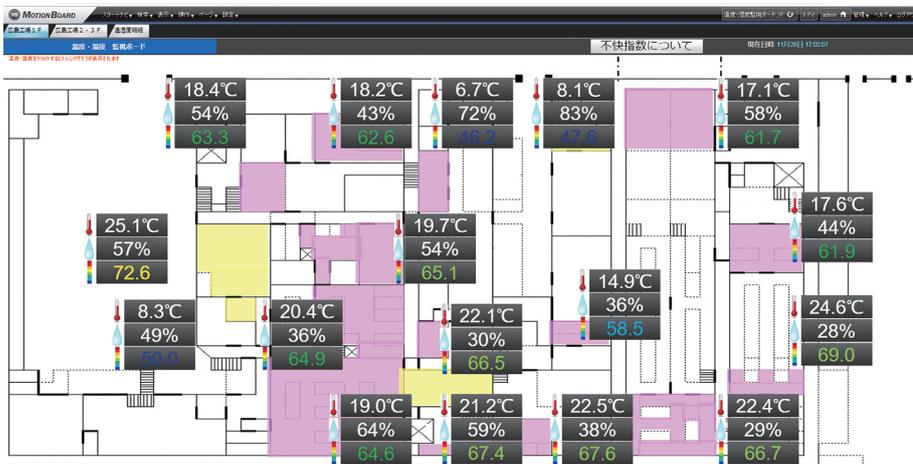
ムのデータを収集・分析・可視化できる BI ツールを探すことにした。

そうした中、地場の SI ベンダーから紹介されたのが、ウイングアークの BI ダッシュボード「MotionBoard」だった。広島工場の情報システム全般を担当する清水池深人氏は「SQL が分かれば、プログラムレスで視認性に優れた画面が作成できる点を高く評価し、

MotionBoard を導入することに決めた」と話す。

広島工場では現在、生産スケジュールの管理、工場内の温湿度管理、生産設備の稼働監視、原材料の品質管理、業務インシデントの可視化など、さまざまな用途に MotionBoard の BI ダッシュボードを活用している。従来と同じ色分けを用い、異常を即座に発見・対応できるようになった。

情報を見える化した100種類以上の画面を作成



三島食品株式会社

設立 : 2016年1月(創業1949年1月)
 本社所在地 : 広島県広島市
 URL : <https://www.mishima.co.jp/>

ロングセラーの「ゆかり」をはじめ、ふりかけ、お茶漬、調味料などの食品を製造・販売。「良い商品を良い売り方で」を基本方針に、安心して口にできる商品を提供している。

サイト内でより詳しく
ご紹介しております。



<https://www.wingarc.com/product/usecase/204.html>